

北里大学病院・北里大学東病院（旧）を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	脾温存尾側脾切除術後長期経過症例における胃静脈瘤発生リスク因子の検討-国内多施設共同研究- (C21-285)
当院の研究責任者 (所属・職位)	一般・小児・肝胆脾外科 教授 隈元雄介
他の研究機関および 各施設の研究責任者	滋賀医科大学 外科学講座・教授 谷眞至
本研究の概要・背景・目的	脾臓は免疫機能や濾過機能を有しており、抗原認識、抗体産生や感染に対する防御機構に深く関与しているため、脾臓を摘出すると重症感染症や、後々に悪性疾患を引き起こすリスクが高くなると言われています。 脾温存尾側脾切除術では、脾動静脈を温存する術式と脾動静脈を切離する術式があり、脾動静脈切離する術式は、手術手技が容易であることがメリットですが、脾静脈切離に伴う胃静脈瘤を引き起こすことがあります。脾静脈温存は胃静脈瘤の発生リスクが軽減するとされていますが、手術手技が煩雑で、時に脾静脈血栓を起こすことがあります、それに伴い胃静脈瘤を起こすことがあります。 本研究では、脾温存尾側脾切除術長期経過症例における胃静脈瘤発生と臨床病理学的因子との関連性について検討することを目的とし、これを明らかにすることで、脾温存尾側脾切除術症例における周術期の長期的な安全対策が可能となると考えられます。
調査データ 該当期間	2011年1月1日～2023年12月31日
対象となる患者さま	2011年1月1日から2018年12月31日までに、脾温存尾側脾切除術を施行した患者さま
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2011年1月1日～2023年12月31日の検査データ、診療記録、手術に関する情報を電子カルテから取得します。
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	多施設共同研究であり、上記の他の研究機関・研究責任者へ提供匿名化した情報としてCD-ROMに保存し、郵送にて提供します。 提供元機関の名称及び機関長の氏名：北里大学病院・病院長 高相晶士
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	必要時に、滋賀医科大学外科学講座の資金を使用します。 利益相反については、研究の資金源の有無に拘わらず、北里大学利益相反委員会で審査され適切に管理されます。

お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位： 北里大学病院 一般・小児・肝胆膵外科・診療講師 担当者： 田島 弘（タジマヒロシ） 電話： 042-778-8111
備 考	